第一大學區督學局印

東京帝國大學圖書之印

國禁止若犯ものあるとき必ずかならず大辟をなす

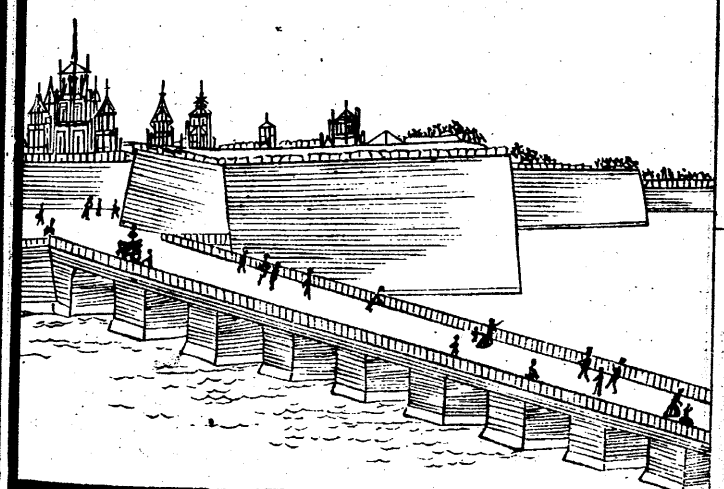
又名波斯ペルシヤ

土耳其國

土耳其國東境

の東方にあり
小亞細亞地中海
南方い波斯海
たる大國にして
約一千萬の人口

比耳西亞大城之圖



にて此方低地の氣候は甚熱
暑にして四地は平原
の氣候夏時は極暑にして
時い暴雨たり小方及び西小
の土脈は畜牧に適し

もろもろの百般の穀物及び菓實
を産すること甚多し然れども
東方の沙の地多く耕
種し其首城「テヘラン」に「エルブルブ」山
の麓にあり十二萬人の住民あ
り造船物を婦人の布帛を織る
平器利器等を
重き輸出品とす
此国西国を小緯線廿六
度より起り四十九度に至る緯線

ゝ佛蘭西ゝ西班牙葡萄牙ゝ國を備せ尚此國を大

亞加業垣國 又名阿富汗 アフハニスタン 及ゝ波路直坦國 又名俾路芝 ロトチスタン

亞加業垣國及ひ波路直垣國

ゝ加利亞國の南方此

西亞國の東方にある南國なり
亞加業垣國の人口を強計
知るべからざる城市
「カブール」及び「カンダハル」を比年西亞國
及び大布加和亞國と印度國

比耳西亞猛獸獅之圖

との高物地
稱稜一又波羅
亞坦國の城市
「ケラット」に印度國
と比耳西亞國

との通商大に盛なる且堅牢
なる城郭にして城市なる波羅
奈国の人口は約十万戸
十美美にして西国の人性は勇
猛にして生国に在る田土を耕
種することを専務とする所の度
国より輸する馬牛等を
飼養してこれを主業とする
なり富汗国は緯線九
度を起りて廿二度に至る

強ハ北緯四十六度ヨリ起
東七十度ヨリ五十度ニ強計
二十萬の方里あり
波路真但國ハ北緯線四十六
度ヨリ起リ四度ヨリ五十度ニ止リ
強強ハ北緯四十六度
ヨリ起リ七十度ニ止る萬一
強計十萬の方里あり
大布加利亞國 トルケスタン自主嗟嗚嗟
喇即チインデペンデントタルタ
タリー

大布加利亞國を比耳西亞國の東北「カスピヤン」海の東方にあたる大國たる全國の人口を約四百萬にして名目上の列國を「キアンス」と稱する主宰にあたる

その制度を管理せる盛大なる城市を「ボクハラ」國とする同名の城市なり住民約十六萬人にして廣大にして人烟の群密たるこの地を富大とする

且貿易も又繁盛して亜細亜
洲中四方の諸門徒衆集
せるを以て其名高山脈を
隔の海沿ふて地を豊饒
して多の穀物果實を産
す就中「ボリハラ」
國を第一とす
且南の方ふ
廣大なる源
流あるを奇
異

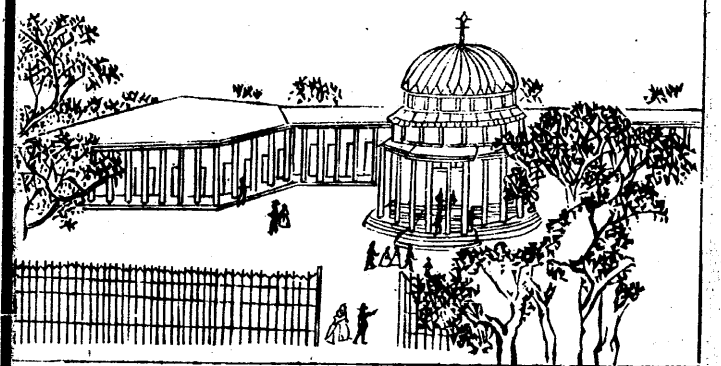
土耳其城之圖

の馬其他の獸類を飼養す此原野に住する人民は常に空地なる田

畝を耕して屢他邦より從事帳篷（テント）の内を住所とす地の空虛なる所に其至る所を己れ私地となす有すること自由なる獸類を飼

華芥のあるを久しきを
住とたす
大希加利亜國を加弗線
廿五度より起りの十五度より亞
弗線を北極備西五十五度

より起り十五度より亞て山る
土耳其國東境 即チ回々國トルキーインアジヤ
土耳其國東境を土耳其「アルメニヤ」「メソポタミヤ」亞弗亞「マイノル」及ひ「パレステン」ち
神國を合したる「シリヤ」の四大國



ハレステン神堂

を建て二條の大河のあるを「チグリス」「ユフラテス」とし「パレステン」を神國と稱する義主此地

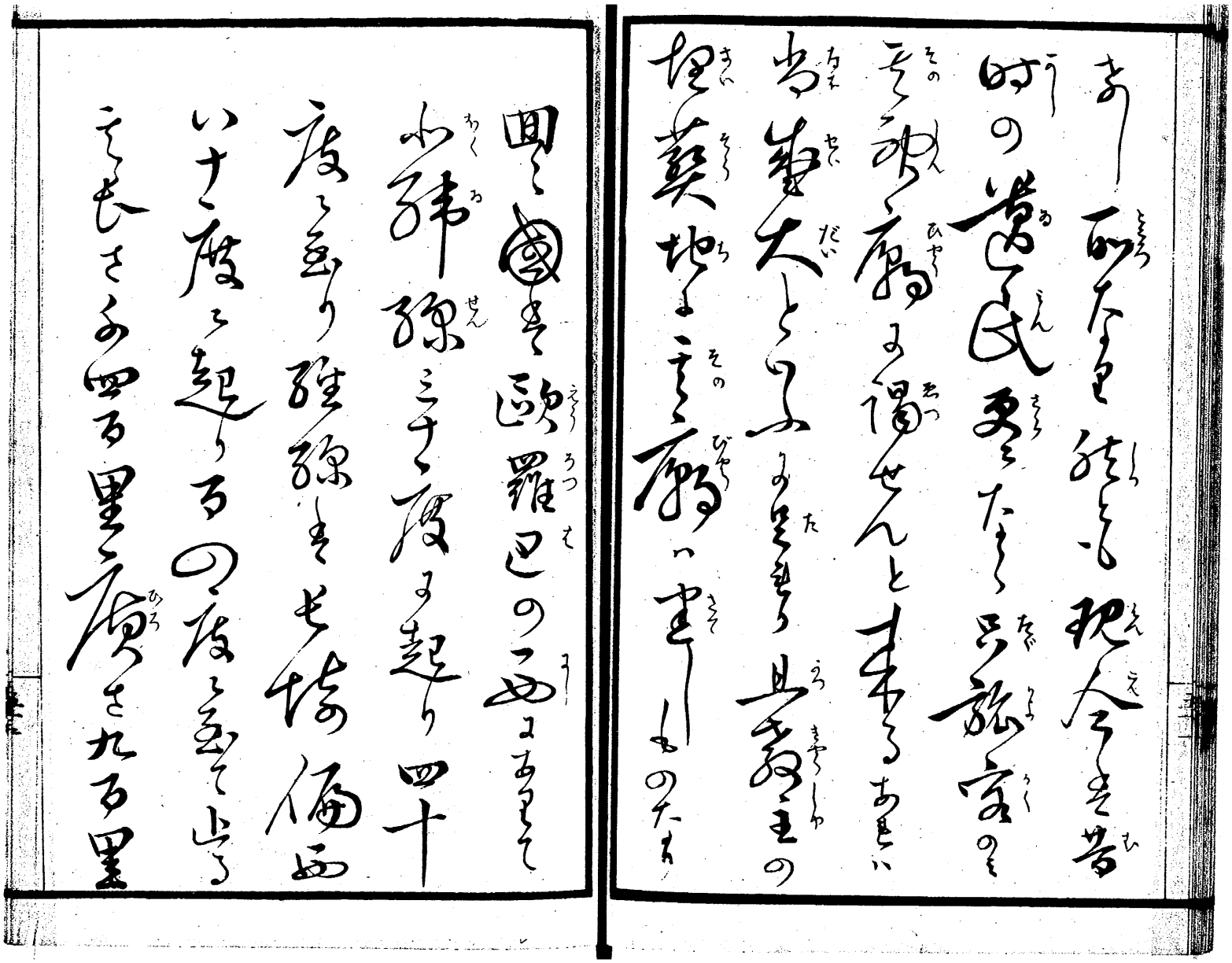
又雜を受て死せしが亦此地なるを以てなを高山面在あるを「アルメニヤ」山及ひ「パレステン」まある「レバノン」の山列なる陸地大洪水の時「ノー」と稱する聖人の乘り船を出地

の「アルメニヤ」の「アラ、ット」山より又「ゾロムン」
なる生人寺院を建立せしとき
楠木を「レバノン」の山中にて拔取る
を以て今を名を金國の人
只に絵計約一ヶ六ヶ年を輪

出品を婦人の
衣服を織る業
毛織綿花
る服の菓実
等や素色

なる城市なり亜細亞「マイノル」の西濱なる貿易場たる「シルナー」なりて住民ナカ多人但首城なる此の「シリヤ」なる「アレッポー」及び「ダマスクス」も亦高国なる城

市なりと雖も「ゼルサレム」城の名高きしの民其住古「ゼウス」の國なる「ユデヤ」の京城なりて至人「ソロムン」の建テし古殿の舊跡なるを以て「ゼルサレム」近傍の「カルワリー」山に磔主罪を受



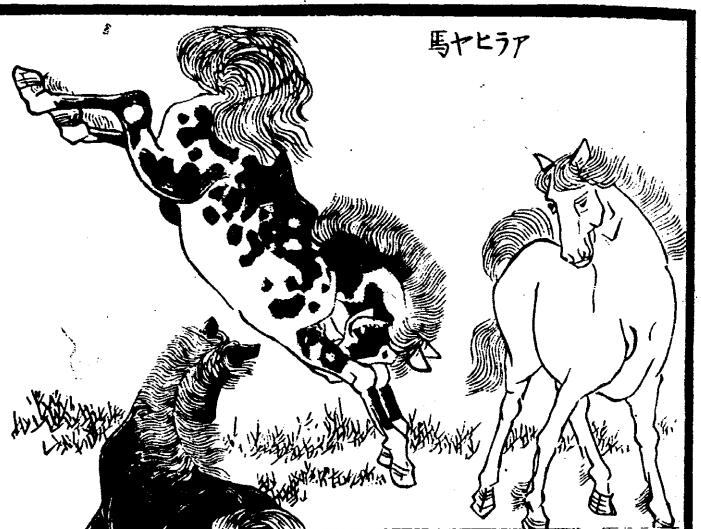
有所なる結構現今なる昔
時の堂宮殿建たる所旅宮の
その殿廊の傍せんと書るあるい
当堂大なる所なる其主の
住莫地なる廊中書物たる

四方四面なる跡羅国の二面なるて
小弟孫三十度の起り四十
度なる孫孫も七倍面
いま度の起りるの度なる山
なる長さの四百里廣さ九百里

して強くの者の者
里あり

亞拉比亞國 名亞拉伯 アラヒヤ

亞拉比亞國を亞細亞洲の
西南に在る大國にして土耳



其國南方に當り
亞非利加洲
との間海を
隔てゝ紅海中
央を沙漠廣大

て所謂華夷たること

南方を美地たると全國を三部

に分ち磽地沙地及び地脈の通

徹なる一を指地と名く要害な

る城市を七百代回教の祖

「マホメット」の生地なる「メッカ」及び

其墓地なる「メデナー」なると四外「ムスカット」

「ト」の「アイマン」回教の法主

「カット」の領地にて首城なる「ムス

紅海に沿ひ大なる埔陸

にて西隣にて喫啡コーヒーの生

產あるて名高き「モチヤー」たる地の「アーテン」を所の人踊るあるて英國より所一堅牢を守

護一を治船の捕所たり獸類大い駱駝驢子及び一種の名馬あり一年常貨物の運送ハ驢子を用ひ旅行も用ふる駱駝を以て全國の人口を運

いろはの地の人民を浸潤
の恩顧として行人又は占澤
の財物を劫奪す
亜拉比亞國は北緯線十
二度より起り廿二度迄強線

を持つて西七十度より起り九十
六度に止る二千長さ六百里ふ
して総計一万五千の里あり

「クルリ」島

「クルリ」島は亜細亞洲の小濁り

あるて小弗線
の千四度より起り五
十度を五り緯線へ
も極以北十七度より
起り二十四度より山り

小嶋

総計四百三十の方里あるて「カムトチ
ヤツカ」魯國より本州を線五せり
陸奥の群島たり二百四本
より出き三島を以て帝國
より所々餘を総て「イルクツス」たり

之崇羅新國政府の管轄に
属し住民は漁撈を本務とし
毎年鵜毛の貢を政府に
進む

「サハリーン」島

「サハリーン」島は北緯四十六度
より起り五十六度に至る経線を
以て東十三度より起り十四度
に終る計四百七十五里の形
勢にして極東の北海の系海

滿州ノ荒人

ある山長の島なり此地を未だ諸人の住せざるなり所なれども古時を小都

支那國南方を日本國と雲州せしなり人民を多く漁獵を生業とせり

瑠球島（ルーチユー）

瑠球島を北緯線二十六度

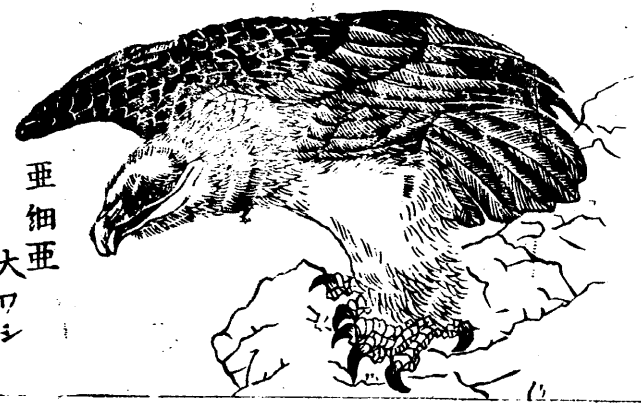
強弱い生物備而
二度上まりて日本
國と臺灣島支那
の間にあり長さ六十
五里ほどして外に尼そ

三十五箇の小島を集合し
総計五百の方里あり蓋
し日本帝國に屬すと雖
も亦多く帝國の管轄す
て物産も多物珍奇家

高麗

「ゼヲルジヤ」國

「ゼヲルジヤ」國は緯線赤道以下三十九度より起り四十五度に止る經線は七十九度より起り九十二度に止る



亜細亜大ワシ

起る九十二度より止る經線は二百八十八里の方里あるを黒海と「カスピヤン」海は中間にあり南方を

此平面國山多き「カウカシュス」山
にて歐羅巴洲と亞羅新國
との境界たる國内山嶺重疊
樹木繁茂たり美土地
肥沃たるにて麦稻米大麻
苧麻等の物産あり人口稠
計約三千萬にして耕種牧
牧を為す生産とたる首城を
「テフリス」と云ふ硫黄泉湧出
あるを以て其名あり

「ニコバル」及ヒ「アンダマン」諸島

「ニコバル」海島ハ小緯線六度ヨリ
起リ十度ニ至リ経線ハ長崎
以西三十五度ニ在リテ弧形
ノ四方ノ方里ノ廣ハ麻六甲國

印度島一角

ノ西方印度洋ニ
在リ「アンダマン」海島ハ「ベン
ガル」灣中小緯度
十度ヨリ十五度ノ間
ニ在リ伊豆

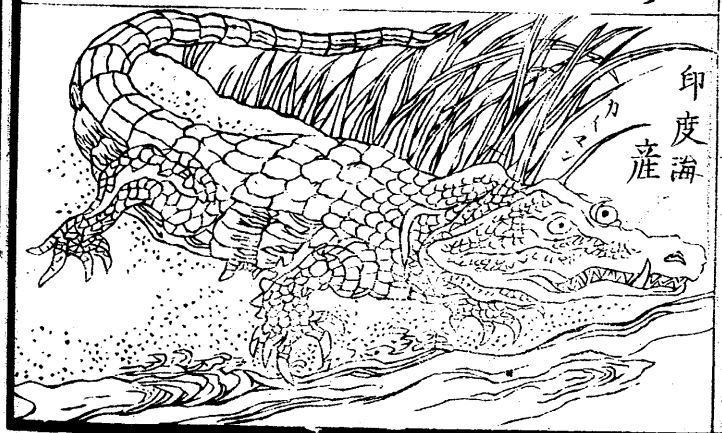
土船畜牧して住民を聖人
たり多船「ニコバル」島に到り牧畜
葉を以て柳の四箇の羅
紗一「ヤル」曲尺三尺二寸五分計を以て五箇
の價として買ひたる者

煙草を其地市通の交易品
とする者

「マルギー」及び「ラッカン」群島

「マルギー」及び「ラッカン」群島の緯線
を遠以北緯度より十二度ふ

続き経線に沿ひ以西五十六度より起り五十九度に止り印度諸國の西南印度洋の西部にあり



無数の大郡なり蓋マルディブ島の一郡にして其主宰之を管轄し毎年の貢を「セーロン」島にある英國政府に納る土物産の内「コウリース」と稱する貝殻を使

幣の代用となる最も高貴の物品

桂洲園圭 信平

地學往来巻之一終

銅版萬國方圖 獲章入 全

英學初歩 中本 全

佛語階梯排譯 中本 全

洋算代数術 中本 全

地學往來 亜細亜之部 全三冊

同 二篇 近刻

同 三篇 同

同 四篇 同

桂洲伊藤先生述 全叢板

橋本玉蘭齋 画

明治五季五月